

島根県立図書館 文庫リスト

雲州松平家文庫

2, 850 冊

第15代当主松平直壽氏から寄贈された、雲州松平家に代々伝わる系図や歴代松江藩主の記録である年譜、家譜など33冊と直亮公伝記資料、系図松平家(折本)外9点の計43点の資料と、明治末から昭和にかけて、第13代当主直亮氏より寄贈された、歴代藩主が収集した『大日本史』などの歴史書や木版版の『群書類従』、『宇津保物語』などの古典籍等、江戸時代後期から大正期までに刊行された版本(木版印刷本)が多数含まれる貴重な資料群。

雲藩文庫

269冊

松江藩主松平斉貴(松平不昧の孫)が収集した洋学書。「雲藩図書」「修道館蔵」「松江図書」などの蔵書印が捺されている。斉貴は新奇を好み、時計の収集家として知られているが、洋学の導入にも積極的で、藩士の子弟を遊学させる一方、蘭語事典・医書・兵術書など、主として蘭語洋書を収集し、藩校に備えたといわれている。この文庫はその一部である。中でもフランソワ・ハルマ(Francois Halma)の蘭仏・仏蘭辞典2冊(1781、ハーグ刊)は貴重であり、稲村三伯のハルマ和解の底本になったといわれている。

ヘルン(ラフカディオ・ハーン)文庫

1, 182冊

明治23年から24年にかけて1年3か月間、松江中学校教師として赴任し、多数の作品を著したラフカディオ・ハーンに関する文献を収集したもの。

西田文庫

519冊 文書10点

明治前期、松江中学校の教師であり、ラフカディオ・ハーンと親交のあった西田千太郎の旧蔵書。幕末から明治初期に使われた読本や教科書、ヘルンから贈られた文学書等。

曾田文庫

1, 902冊

松江市法吉町の曾田虎一郎氏が、農事のかたわら収集した旧蔵書。主に農書及び郷土資料。

山口文庫

6, 700冊

大蔵省、日本銀行などの要職を歴任した松江出身の山口宗義氏の旧蔵書。漢籍が主で、朝鮮本や唐本には古版に属する貴重書がある。

鶴田文庫

267冊

江津出身の鶴田真秀氏の解読浄書による石見近世史料集。主として石見における海事・製鉄（タタラ）関係史料で、経済史研究上貴重なものである。

深田文庫

153冊

出雲、隠岐地方の産業、農業関係資料

島根県史編纂資料

2, 274冊

島根県史（全11巻 大正10年～昭和5年刊）の編纂にあたり、採訪筆写した古文書、古記録類で、特に中世文書については、県内に存在するものの大部分を影写して貴重である。

島根県立図書館所蔵漢籍

10, 400冊

松江藩藩校の旧蔵書、県庁引継資料等を含めた、当館所蔵資料中の漢籍類をまとめ、長澤規矩也氏の助言により、四庫分類で整理したもの。

松江藩郡奉行書文書

147袋

松江藩の民事訴訟（境界争い、金銭貸借等）記録。江戸時代の記録保存方法である一事件を一袋に納めた「一件袋」の形態と、作成された当時の状態がそのまま残っていたことから、全国的にも珍しい貴重な史料。

松江藩御徒古記録

152冊

松江藩の下級役人の勤務記録。藩政資料の少ない松江藩では貴重な原本記録類。

松江藩儒臣桃家資料

305冊

松江市出身、東京大学名誉教授桃裕行氏旧蔵書。桃白鹿、桃節山等、松江藩儒臣の家に伝来した文書記録類。

内藤文庫

島根大学名誉教授内藤正中氏の旧蔵書。島根県近代史、社会経済史、労働運動史、日韓関係史等の著書と、編纂にかかわられた県史、県議会史、市町村史等の収集資料。ほかに商工会議所等の団体史関係資料、明治時代の新聞、統計書等。執筆のために収集された資料は、今後、入手し難いものも多く、貴重である。

入谷文庫

島根大学名誉教授入谷仙介氏の旧蔵書。中国漢詩、漢文関係資料。中国語文献。線装本（漢詩、和書）。稀覯本も多く、中国関係資料は全国的にも充実した資料群となる。ほかに文化人類学、民族学関係資料と、在松江時代に収集された剪湊吟社（戦前の漢詩結社）関係ほかの島根県地域資料。著書論文ほかの収集資料。